

第3回まち・ひと・しごと創生懇談会の概要

日 時 : 11月17日(火)午後3時00分～4時30分

場 所 : 4階会議室

出席団体:

鈴木座長 木更津商工会議所 会頭

江沢委員 木更津市富来田商工会 会長

白井委員 木更津市農業協同組合 総務部長(欠席)

高浦委員 木更津市6漁業協同組合連絡協議会 事務局長

小出委員 木更津市公共職業安定所 所長

石橋委員 千葉県君津地域振興事務所 所長

前野委員 木更津工業高等専門学校 校長

丸橋委員 学校法人君津学園 清和大学 教授

戸塚委員 金融懇談会 千葉銀行木更津支店 支店長

中島委員 連合千葉南総地域協議会 君津地区連絡会 幹事

大橋委員 株式会社ジェイコム千葉 木更津局 局長

平野委員 木更津市区長会連合会 会長

滝口委員 木更津市社会福祉協議会 会長

鈴木委員 木更津市保育協議会 副会長

白石委員 木更津市PTA連絡協議会 会長

とりまとめた人口ビジョンの素案及び総合戦略の素案について説明し、その視点や方向性などについて、各委員から意見を頂いた。
【以下、意見の概要】

- ・人口ビジョンについて、合計特殊出生率など国の数値をそのまま取り上げており、各自治体のカラーが出ていないので具体的な目標値や方向性を記述した方が良い。
- ・本市の人口が増加に転じた理由を分析し、それを次に繋げていくことが重要である。
- ・各数値目標やKPIは、5年後の31年度を目標としているが、途中経過のタイムスケジュールが分からないので、市民の皆さんに進捗等を示した方が良いと思う。
- ・海産物の生産現場や農産物、家畜などを身近で見たことが無い子どもが多いので、木更津収穫祭というようなものを市の中心地で毎年1週間ほど開催し、子供が農業や水産の現場に少しでも親しみをもつ機会をつくる取組をしてはどうか。

- ・東京オリンピック・パラリンピックは、子供たちにすばらしいプレーや多国籍の言語を直接見たり触れたりと貴重な体験をさせることができる。また、これを機に語学関連やボランティアの方々など、色々な人を呼んで、移住・交流に繋がられるようアピールしていくことが必要。
- ・木更津市は活気があって会社の事業所数も伸びているが、従業員の確保、特に若年労働者の確保が難しくなっていると感じており、地元の若者に地元の会社で働いてもらうような積極的な施策を展開してことが必要である。
- ・安定した生活基盤の基本になるのは収入であるが、特に、これからは女性の活躍を推進していくことが重要であるため、女性の働きやすさを求めていく取組が必要である。
- ・かずさアカデミアパークとの連携について戦略に記載し、シリコンバレーのような産業の集積化を目指すべきである。
- ・東京湾アクアラインの記述はあるが、圏央道による利便性の向上や成田・羽田の両空港への近接性に関して、もっと強調して記述し、その利を活かしていく姿勢を打ち出していくべきである。
- ・地域ブランドの構築との記述があるが、木更津のお土産や名物はこれが有名であるとか、木更津を象徴するような商品があると良いのではないか。
- ・転出減は頭打ちになってきたので、転入増に力を入れる必要があり、地域間競争が激化する中で移住先として選ばれるためには、木更津の強み、ブランド力というのを磨き上げて高めていただければと思う。
- ・文化的なこととして、落語、お笑いや能などの練習や発表をするための場所を常設でつくることで、若い人の交流を増やすのはどうか。
- ・深夜便も含め金田バスターミナルの拡充、併設のモール、シリコンバレー及び球技場の建設など、千葉県の入口である木更津の金田を整備することで、新たな定住先として木更津方面に目を向かせることができるのではないか。
- ・県外から見ると東京湾アクアラインと木更津がリンクしていないので、様々なチャンネルで木更津の全国的な地名度の向上を図るべき。
- ・木更津市は桜の観光名所はたくさんあるが、秋の紅葉が綺麗な場所もたくさんあるので、それを観光等に利用した秋祭りなど増やしていくのは良いと思う。
- ・木更津市の公衆トイレは、暗く、汚く感じ、特に女性は入りづらいと思う。女性にうけるような場所づくりが必要である。
- ・木更津駅の西口ロータリーを横断する歩道と交差する高速バス側の停止線が無く、市民や観光客など非常に危険なので改善をお願いしたい。